

ほほえみ

第35号 2015年12月発行



独立行政法人 国立病院機構
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1

TEL (0767) 53-1890 (代)

FAX (0767) 53-5771

ホームページ <http://www.nanao-hosp.jp/>



「湾の朝」 橋本義則（七尾美術作家協会会員）

私達の信条

私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
私達は、国の担うべき医療を提供し、地域に親しまれる病院を目指します。
私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
私達は、医療の進歩に貢献するために臨床研究を推進します。
私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

目次

着任のご挨拶	2
ゆめ水族園	3
アフタヌーンティワゴンサービス	4
花いっぱいボランティア2015	5

着任のご挨拶



副理学療法士長 楠川 敏章

平成27年4月1日付で七尾病院リハビリテーション科副理学療法士長に着任致しました楠川敏章です。よく誤って呼ばれることがありますが「敏章」は「としあき」ではなく「としふみ」ですのでお願い申し上げます。

私は三重県南部の出身で、国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院（当時）を卒業後、名古屋市内で一般的な入院・外来リハビリテーション（以下リハと省略）、制度開始直後の介護保険分野での訪問リハ・通所リハを経験した後、平成12年11月に当時の国立療養所三重病院に着任致しました。以後、国立病院機構発足を跨ぎつつ、国立豊橋病院（当時）→東名古屋病院→静岡富士病院→静岡てんかん・神経医療センター→東名古屋病院附属リハビリテーション学院と東海・北陸グループを渡り歩き現在に至ります。かつての同僚からは残り2県（富山県・岐阜県）で国立病院機構の東海・北陸グループ内全県制覇だと鼓舞（揶揄？）されております。ですが、この経歴故に脳血管障害・運動器・呼吸器・循環器・小児発達分野を始めとする急性期～回復期リハを始め神経難病やてんかん、重症心身障害児（者）のリハさらには入院・外来・在宅問わず幅広く対応できるのが私のセールスポイントとなっております。今後も様々な分野のリハに対応できる理学療法士を目指し日々努力すると共に、教育職を含むこれまでの経験を活かしリハ科に新たな風を吹かせたいと考えております。どうかよろしくお願い致します。

それで、この七尾病院に着任して私がまず感じたことは、スタッフの皆が医療の質の向上を意識していることが挙げられます。まだ、病院の運営において私に見えていることは少ないのかも知れませんが、リハ科に関連する部分だけでも患者さまのカンファレンスの充実（ここまでキッチリ執り行っている病院は初めてです）や、リハ科の業務の評価・分析・改善策の立案においても単なる数字上の成果に捕らわれないところ（とかく数字だけに拘って医療の本質を見失いがちなところもありますので）など、本当に恵まれた環境だと日々感じております。

さて、そんな恵まれた環境の中だからこそ、リハ科が果たさなければならない責任も大きいと思います。当院のリハ科の人数は昨今のニーズに合わせ急増（現在リハ3職種で16名）したところであります。その中で多くのスタッフは若く、経験も浅く、他の施設の環境も知り得ない状況にあります。そのため、今も多くの皆さまに支えられており、至らないところや未だ充実しているとは言えないことが多々あります。だからこそこれから多くのことを吸収し、学び、リハ科を発展させ、地域医療に貢献する七尾病院の一翼を担えるよう、努めなければなりません。ですから、リハ科にご要望あるいはご指導がありましたらどんどんお寄せ下さい。リハ科一丸となって、すぐに改善できることはすぐに行い、すぐに改善できないことは一つ一つ着実に改善に近づけるよう何らかのアクションを起こせる、フットワークの軽いリハ科を目指して参ります。また、病院の行事や地域の皆さまへの出前講座、外部の研修などにも積極的にスタッフが出て行く開かれたリハ科でありたいとも考えております。その中で、今後様々なご提案や新たな取り組みについても発信して参ります。今後ともどうか七尾病院リハビリテーション科をよろしくお願い致します。

ゆめ水族園

保育士 花 田 瞳

部屋いっぱいに、海の生き物たちが泳ぐ空間『ゆめ水族園』。まるで海の中を泳いでいるような世界観です。

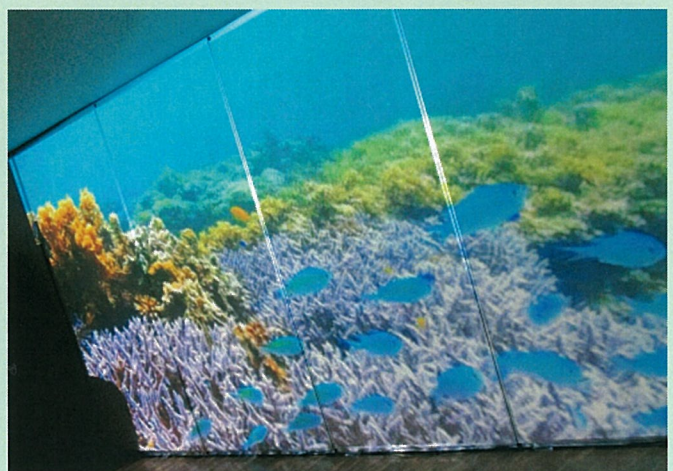
これは、プロジェクターを用いて部屋に映像を映し出すプロジェクションマッピングで、セイコーエプソン株式会社様より発案していただいた社会貢献活動の一環として企画されたものです。うす暗くした部屋の中、あたかも本物の魚やクラゲなど様々な生き物たちがゆったりと泳ぎ、実際に見たり触れたりという体験ができます。壁一面に映し出される大きなカバは、今にも向かってきそうなほど迫力あるものでした。

平成27年9月2日（水）、一階病棟の誕生会の催しとして行いました。患者さまのご家族にも呼びかけをし、たくさんの方々に参加していただけるようにしました。皆さん、「一体今から何が始まるのだろうか？」といった様子でしたが、いざ『ゆめ水族園』の中に入ると、「わ～、すご～い！」と思わず声がでてしまうほど感動していました。次々と現れる生き物を指さし、「これ綺麗やね～」と患者さまに話かける姿もみられ、親子の優しい会話のやりとりが垣間見られました。実際に手で触れることもでき、柔らかいカーテンが顔に触れることでニコニコと微笑む方もいて、目だけでなく、耳でも水の音や音楽を聴き、肌でも感じ、いつもと異なる雰囲気になんか皆さんが感動していました。押している車椅子を止め、親子でリラックスした時間を過ごしておられました。

行事の後、他の病棟からも、「是非見たい！」ということで患者さまが訪れてくださり、「すごかった～」「見られてよかったわ～」とおっしゃっていました。

セイコーエプソン株式会社様のほうからも、「普段自分たちが作っているものが、皆さんに喜んでもらえて本当によかった。自分たちにも励みになりました。」と少し涙ぐんでお話をされていました。

今回、この『ゆめ水族園』という企画をとおして、患者さまに普段味わうことのできない体験を感じてもらえることができ嬉しく思います。もっと患者さまに喜んでいただければ、楽しい行事・新しい体験を、これからもどんどん企画していこうと感じました。ご協力、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



アフタヌーンティワゴンサービス

栄養管理室長 浅井 慎 悟

入院患者さまにとって「食べる」ということは治療の一環としてだけではなく、つらい入院中であっても「**愉しみ（たのしみ）**」が得られる唯一のひと時と言えます。

そこで、七尾病院栄養管理室では入院患者さまからのご要望がありました「デザート&飲み物のワゴンサービス」を行いました。方法としては各病棟の病室まで専用のワゴン車にてケーキ・ゼリー・ムース・アイスなどのデザート類とコーヒー・紅茶・日本茶などの飲み物類を持参して、その中から患者さまが好きなものを選び召し上がっていただくというものです。

デザートの内容として、ケーキ類は定番のロールケーキやシフォンケーキから始まり、バナナ・リンゴ・オレンジを用いたフルーツケーキや人参入りのキャロットケーキ、形態を調整した各種ムース類やトマトをふんだんに使用したトマトゼリー、溶けにくいジェラートなど、当院のオリジナルデザートを多数用意しました。

当院の入院患者さまは食事（栄養）を口からではなく、胃や鼻、点滴などから補給している方も多くいらっしゃいます。そのような患者さまにも少しでも口から食べてもらえるように、リハビリテーション科を中心に医師・看護師が患者さまの食べる機能（摂食・えん下）を確認しながら進めていきました。それによって久しく口から食べることのできなかった患者さまもデザートをおいしく食べることが可能となり、笑顔も見ることができました。

今回のデザートのワゴンサービスは入院患者さまの「愉しみ」や「満足感」につながる一助となることが理解できました。引き続き、患者さまの満足度向上に貢献できるよう取り組んでいきたいと考えます。



花いっぱいボランティア2015

医療社会事業専門員 坂 本 千夏子

今年も七尾病院では、院内スタッフによる花づくりボランティアを行いました。

それでは、これまでの活動をご報告させていただきます。チューリップ等の球根類は、昨年10月頃に地中に植え、春を待ちわびて咲いてくれました。その他、ランタンキュラス、アネモネ、スイートピー、百合類が咲き誇りました。今年は6月上旬より活動を開始しました。隔週の火曜日または木曜日（雨天順延）17:30～18:30、耕した土に穴を掘り、花の苗を植え、適度に水撒きを頑張りました。春の花も見頃を過ぎ、職員有志の花づくりボランティアにより、夏から秋に見頃を迎える花として、サルビア、日々草、マリーゴールド、朝顔、西洋朝顔、ダリア、ポーチュラカ、キキョウナデシコ、メランポジウム、コスモス、黄花コスモス、ひまわり、インパチェンスなどを植え、お世話しました。今年の七尾は適度な雨天と十分な晴天にも恵まれ、グリーンカーテン目的の外来診察室窓辺のひょうたんの葉以外は、花が枯れたり病気にかかることなく、順番に開花の見頃を迎えることができました。毎年、当院の坂道や花壇が花いっぱいになることを楽しみにしていただいている患者さまやご家族、来院される方の多くが長く草花を楽しめたのではないかと思います。毎年のことですが、スタッフ皆、勲章のように蚊に刺されながらの除草作業で大変辛い思いもしましたが、ぐんぐん成長する自然界の生命力は素晴らしいです。

最後に、花づくりボランティア活動が広がり、皆さんが気持ちよく一日を過ごすことができるように、これからも日々患者サービスと環境整備に努めていきます。



看護師募集!

入院から在宅までの
看護を一緒に行いましょう!

* しばらく医療の現場から
離れていた方への職場復
帰を支援するための研修
を行っています。ご利用
下さい!

問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構七尾病院 看護課
(0767) 53-1890 (内線1104)



外来診療担当医表

外来受付時間 8:30~16:00

診療時間 8:30~17:00

	月	火	水	木	金
内科	横地	橋井	陳	藤村 森永	堂下
外科				土島	
呼吸器科	藤村 (PM)	藤村 (PM)	大谷 (PM)	藤村 (AM)	藤村 (AM:初診のみ) 堂下
ペインクリニック			松島 (AM)		
神経内科	横地	横地	横地	森永	森永
小児科	押切/泉 交代医	押切 泉	押切/泉 岡田1回/月	押切 泉	押切/泉 松島
消化器科	陳	陳	陳	陳	陳
皮膚科	和泉 (AM)	藤村 ^啓	藤村 ^啓 (AM)	休診	竹田 (AM)
循環器科					上野 (AM)

※小児期の予防接種はじめ各種予防接種を行なっております。

病院概要

■医療法病床 240床
(一般病床/190床、結核病床50床)

■標榜診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、
ペインクリニック内科、外科、小児科、皮膚科、
リハビリテーション科



案内図



JR七尾線「七尾駅」下車
→北鉄バス【和倉温泉行】にて
(3.7km./約15分)七尾病院前下車
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで
病院バスの送迎あり



編集後記

あっという間に秋も終わりが近づき寒
さが増してきました。

温かい鍋料理など冬も食事が進む時期
ですが、今年は体型維持に努めたいもの
です。

医療社会事業専門員 上田 竜也